



この度は、当薬局をご利用頂きありがとうございます。  
今月は『風疹』についてのお話です。

### ◆風疹とは

風疹ウイルスの感染で起こる感染症です。風疹ウイルスは感染力が強く、感染した人の咳やくしゃみなどで、ウイルスを含んだ飛まつが飛び散り、これを鼻や口から吸い込むことなどで感染します。発熱や発疹などが主な症状ですが、症状が出ないこともあり、気づかないうちに感染を広げてしまう場合があるので注意が必要です。

そのため、手洗いなどの衛生面に気をつけたりマスクをしているだけでは感染を防ぐことが難しい感染症です。



### ◆大人がかかると重症化の恐れあり

最近子どもよりも、大人の発症が9割近くを占めています。日本では、2013年に風疹が大流行し、1万4千人以上が風疹にかかったと報告されています。風疹を発症すると、主な症状として小さく赤い発疹が全身に広がっていきます。通常は3～5日程度で消えていくことから「三日ばしか」とも呼ばれています。

そのほか、38℃前後の発熱、耳や首の後ろのリンパ節の腫れ、目の充血、軽い咳などの症状があります。大人では関節痛が現れることも多く、また、大人がかかると、高熱が出たり、発疹が長引いたりするなど、重症化することもあります。

### ◆なぜ大人の患者が多いの？

1977年～1995年まで、風疹ワクチン接種の対象は中学生の女子のみとされていたため、近年、風疹にかかる患者の約8割が20～40代の成人男性と報告されています。成人の感染者が増えている原因は子供の頃にワクチン接種を受けていないことが挙げられます。

風疹は、1回感染すると生涯続く免疫が体の中に作られるため、その後風疹にかからないとされています。そして、この免疫は風疹ワクチンを接種することでもつくることができます。



### ◆予防方法

風疹ウイルスの感染力は強く、インフルエンザより2～5倍もうつりやすいと言われています。大人が感染すると子供より重症化することもあります。特に、妊娠20週目頃までの妊婦の場合、胎児の目や耳、心臓などに障害が出る「先天性風疹症候群」という障害をもたらす危険性があります。そのため、妊娠前の女性の周囲にいる夫や家族などは、ワクチン接種を受けておくことが大切です。

風疹の予防接種を受けたほうがよい方は、風疹に今までかかったことがない、かつ、予防接種を受けたことがない方です。また、1回の予防接種で95%の方が免疫を獲得できます。2回の接種を行うことで99%以上で免疫を獲得できます。

自分が風疹にかかったことがあるかどうかは、血液検査で調べることができますので、気になる方は確認してみてください。



★ご不明な点がございましたらお気軽にご相談ください★

町田市原町田4-2-2 メディカルスペース町田1F 042-705-7818